

アイカ工業のご紹介

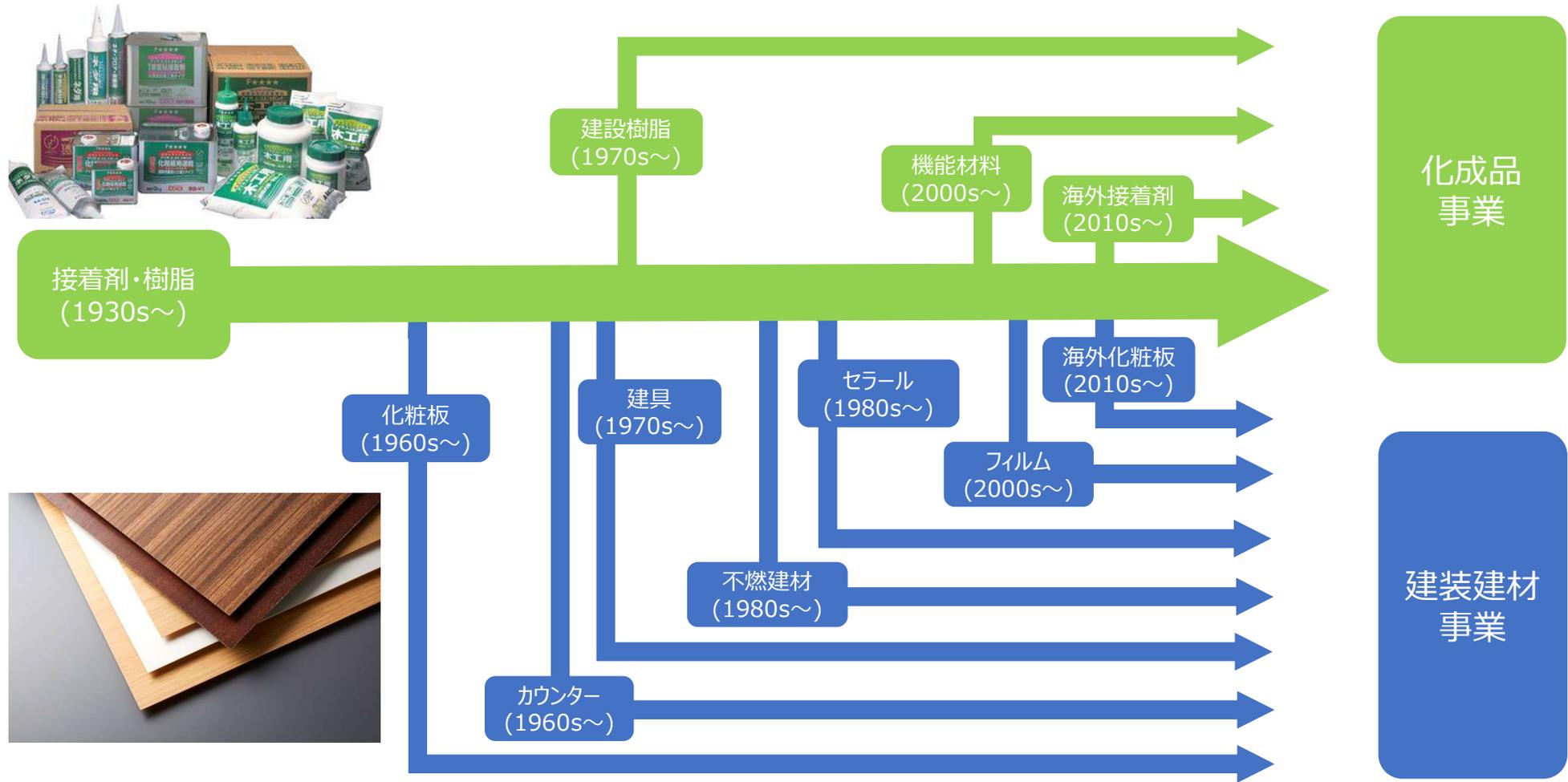
AICA

社名	アイカ工業株式会社
本社	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋26階
設立	1936年10月20日
資本金	98億9,170万円
連結売上高	2,366億2,500万円（2024年3月期）
連結経常利益	261億3,500万円（2024年3月期）
事業内容	化成品・建装建材の製造・販売
連結従業員数	5,007人（2023年3月末現在）
連結会社数	国内8社、海外45社、合計53社（2023年3月末現在）

1936年10月、愛知時計電機株式会社から化学部門が分離独立し、「愛知化学工業」を設立。
1966年、創立30周年を機に社名を「アイカ工業」へ変更。

愛知 化学 工業
アイ カ 工業





化粧品の樹脂技術をベースに、建築分野へ事業展開

セグメント別 売上比率

化成品事業

建装建材事業

コア技術を培った基盤事業

1936年に日本で初めてユリア樹脂接着剤を開発して以来、化学合成技術で時代をリードする商品を開発してきました。2000年代以降は、新規事業領域として機能材料製品の拡充に注力しており、活躍の場は多岐に渡ります。

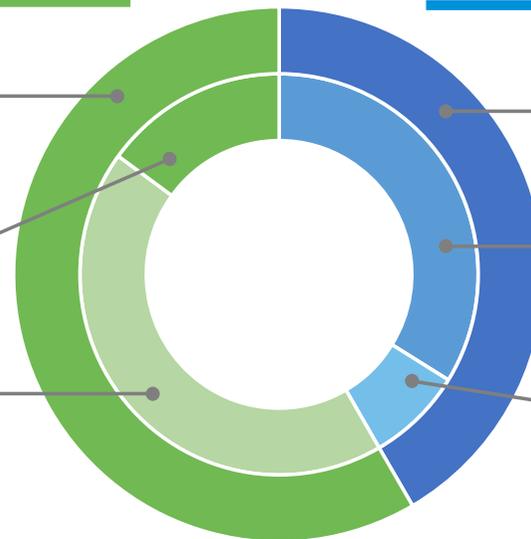
化学技術を活かした独創性の高い商品を提供

化成品事業で培った化学技術を活かして独創性の高い商品を提供し、国内シェアNo.1のメラミン化粧板を基軸とした多種多様な商品を提供しています。豊富なバリエーションであらゆる建築空間を彩ります。

売上高
1,303 億円

国内売上高
28.8%

海外売上高
71.2%



売上高
1,063 億円

国内売上高
81.0%

海外売上高
19.0%

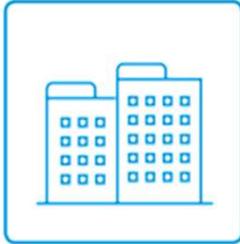
※2024年3月期実績

主要製品 〈建装建材〉

どこに
使われる？



商業施設



オフィス



教育・文化施設



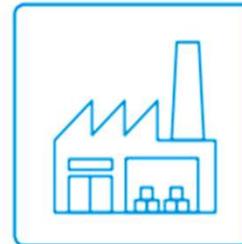
交通施設



医療・福祉施設



ホテル・宿泊施設



倉庫・工場



住宅

どんな
商品？



メラミン
化粧板



ボード・
フィルム等



セラール



不燃建材



カウンター



建具・
インテリア建材

主要製品 〈化成品〉

どこに使われる？



木材加工



建築



土木



自動車



電子材料



工業製品



日用品

どんな商品？

接着剤



工業用・施工用接着剤



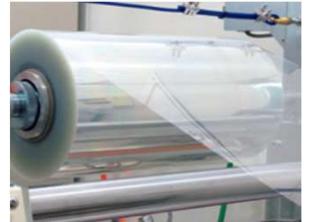
ホットメルト(接着・封止材)



工業用樹脂



繊維板用樹脂



UV硬化型樹脂
高機能フィルム

建設樹脂



塗り壁材(ジョリパット)



塗り床材



補修補強材



有機微粒子

機能材料

UV硬化樹脂、高機能フィルム採用事例

スマートフォン
タッチセンサー



画面保護フィルム



携帯電話



車載サンルーフ



自動車内装用フィルム

フロア材



デジタルカメラ



アクセサリ日用品



電子ペーパー



紙用樹脂



化粧板



デジタルサイネージ

写真はイメージです

当社UV塗料のご紹介

AICAITRON

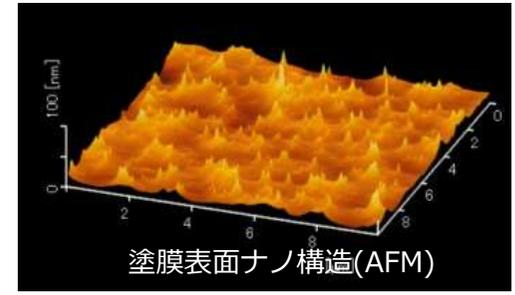
アイカアイトロン

機能性UV塗料

アンチブロッキングコーティング剤

特長 自社合成の特殊ナノ粒子による表面凹凸形成
塗膜面が易滑となり、保護フィルムレスで両面塗工が可能となります。

タッチパネルの内部電極用に実績多数
抵抗膜のITO下地剤、静電容量式のIM下地剤として



弊社特徴

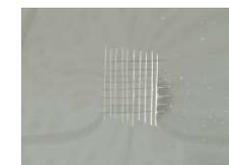
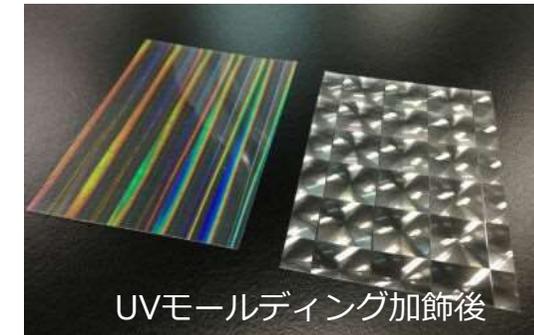
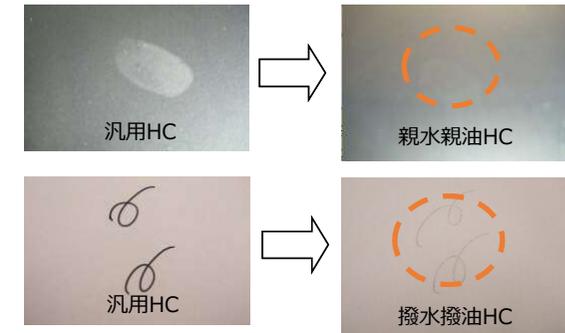
	粒子タイプ (アイカ品)	粒子タイプ (シリカ)	無粒子タイプ (フィラーレス)
アンチブロッキング性	◎ 自社合成の特殊 ナノ粒子によって高いアンチブロッキング性を実現	○	△~◎ 加工条件による変動大 安定生産には不向き
光学特性	◎ ナノ粒子とHC膜の 屈折率をマッチング	△ HC膜との屈折率差が 大きくヘーズ高	△~◎ 加工条件による変動大 安定生産には不向き
硬度	○	◎ 無機シリカによる 高硬度化	○

機能的UV塗料

防指紋コーティング剤

特長 指紋や汚れを拭き取りやすくする、撥水撥油と指紋を目立ちにくくする、親水親油があります。最近では撥水撥油のニーズが圧倒的に多く実績も多くなっております。保護フィルム用途でフリック入力しやすい指滑りタイプも好調。

ガラス飛散防止の表貼り用途に実績多数
保護フィルムで指滑りタイプがスマホ/タブレット向けに実績あり



プライマーコーティング剤

特長 特殊な樹脂設計とすることで、各種印刷インキやUVモールドニングとの密着性に優れる。最近ではITO代替としてメタルメッシュ系タッチパネルセンサーのプライマーが量産中。

ガラス飛散防止の裏貼り用途に実績多数
メタルセンサーのプライマーとしても実績多数

機能性UV塗料

高屈曲コーティング剤

特長 一般的なハードコート性能を維持しながら、非常に高い屈曲性を有することを特徴とする。膜厚調整で耐擦傷性と屈曲性をコントロール可能。直近、フォルダブルフォン用途で求められる耐消しゴム摩耗にも対応。

フレキシブルディスプレイやCOP基材用として一部採用実績あり

バイオマスコーティング剤

特長 植物由来の原料を一部使用したUVコーティング剤になります。通常のハードコートと同様の透明性、硬度、耐擦傷性を持ち、高いバイオマス度によって地球環境に配慮したコーティング剤です。

※バイオマス度とはコーティング膜の乾燥重量に占める、バイオマス原料の乾燥重量の割合です。

量産実績はありませんが、現在多くの企業の方からご興味を持って頂きご評価頂いております



バイオマス
No.220239

バイオスマークの
認定取得済！

自動車内装用UV塗料（プレキュア/アフターキュア）

特長 高いハードコート性能を有しながら、後加工・成形性に優れ、インサート成形やTOM成形などの加飾成形用途に最適です。
自動車内装CID（Center Information Display）パネルに多数実績があります。



物性

		プレキュア				アフターキュア	評価方法
		Z-607-10AF	Z-607-9AF	Z-607-5AF	Z-607-27AF	Z-624-12AF	
性状	有効成分	30%	30%	30%	30%	30%	理論値
	溶剤組成	PGM/NBAC	MEK/PGM/NBAC	MEK/PGM/NBAC	MEK/PGM/NBAC	MEK/PGM	—
	粘度	<15mPa・s	<15mPa・s	15mPa・s	50mPa・s	<15mPa・s	—
物性	全光線透過率	91~92%	91~92%	91~92%	91~92%	91~92%	JIS K7361
	ヘーズ	0.3% (0.00%)	0.3% (0.00%)	0.3% (0.00%)	0.3% (0.00%)	0.1% (0.00%)	JIS K7136 括弧内は塗膜単体
	屈折率	1.518	1.517	1.514	1.509	1.512	アッベ屈折率計 D線(589nm)
	鉛筆硬度	2H	2H	H	HB	4H	500gAICA法
	耐摩耗性	◎	○	△	△	◎+ 耐スチールウール対応	金巾3号 500g×100往復
	伸び率	30%	50%	150%	300%	> 200%※UV硬化前 < 5%※UV硬化後	130℃引張

上記は代表値であり保証値ではありません

当社フィルム製品のご紹介

—
Lumiart

抗ウイルスフィルム特長（ラインアップ例）

1. 視認性を妨げない透明性
2. 高い耐摩耗性
3. 優れた防指紋性
4. 抗菌・抗ウイルス性能(SIAAマーク取得済)

※抗菌・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

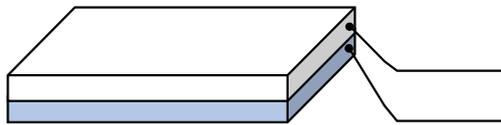
※SIAAの安全性基準に適合しています。



※SIAAマークはISO21702法、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理、情報公開された製品に表示されています。

ラインアップ一例

フィルム構成



	ルミアート抗ウイルスシリーズ
ハードコート	抗菌・抗ウイルスハードコート
ベースフィルム	PET

物性

試験項目	クリアタイプ	アンチグレアタイプ	試験方法
全光線透過率	90.9%	90.5%	JIS K7361-1
ヘーズ	1.4%	35%	JIS K7136
耐摩耗性	傷なし	傷なし	500g/cm ² ×10往復
水接触角	105.1°	101°	接触角計
抗菌活性値	≥2.0(SIAA認定基準)	≥2.0(SIAA認定基準)	JIS Z 2801
抗ウイルス活性値	≥2.0(SIAA認定基準)	≥2.0(SIAA認定基準)	ISO 21702

上記は代表値であり、保証値では有りません

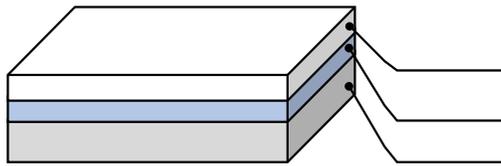
反射防止フィルム特長（ラインアップ例）

- 1. **高い反射防止性能によって、フィルム表面への映り込みを防止**
- 2. **表面に撥水性を付与し、指紋拭き取り性に優れる**
- 3. **クリア(CL)タイプ、アンチグレア(AG)タイプといった様々なラインナップあり**



ラインアップ一例

フィルム構成

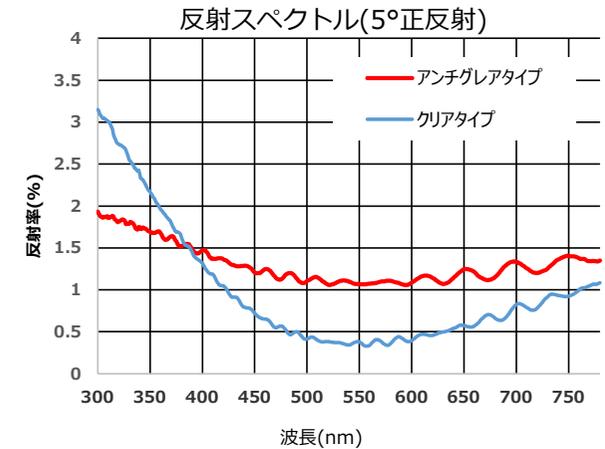


	ルミアート反射防止シリーズ
コーティング層②	反射防止層
コーティング層①	ハードコート層
ベースフィルム	PET、TACなど

物性

試験項目	CLタイプ (TAC基材)	AGタイプ (TAC基材)	試験方法
全光線透過率	95.2%	94.7%	JIS K7361-1
ヘーズ	0.4%	4.7%	JIS K7136
最小反射率(5°正反射)	0.4%	1.1%	分光光度計にて測定
接触角	117°	116°	接触角計
鉛筆硬度	3H	3H	当社法(750g荷重)

上記は代表値であり、保証値では有りません



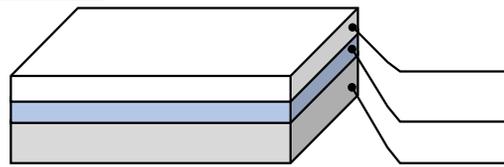
自動車内装フィルム特長 (ラインアップ例)

- 1. **高い伸び率(推奨成形温度110℃以上)**
- 2. **優れた耐薬品性**
- 3. **耐久性および耐候性**
- 4. **成形後のUVキュアが不要**



ラインアップ一例

フィルム構成



	OMD Film④S2
保護フィルム	PP(30um)
ハードコート	プレキュアハードコート
ベースフィルム	アクリル, PMMA/PC etc.

物性

試験項目	OMD Film ④S2	試験方法
全光線透過率	92.2%	JIS K7361-1
ヘーズ	0.6%	JIS K7136
b*	0.41	JIS Z8722 D65光源
伸び率@130℃	250% ※3.5倍延伸	AICA法
耐日焼け止めクリーム	OK	80℃×4hr
鉛筆硬度	H	500g AICA法

フッ素フリー

上記は代表値であり、保証値では有りません

ご清聴ありがとうございました